

北九州市の経済情勢と財政状況について

2011.10.27



北九州市 財政局 財務部 財政課

〒803-8501

北九州市小倉北区城内 1 番 1 号

TEL : 093-582-2003 FAX : 093-582-2070



北九州市のプロフィール・・・・・・・・・・	1
市政の経営理念と 「元気発進！北九州」プラン・・・・・	2
地域の魅力向上・・・・・・・・・・	3
北九州市の成長戦略・・・・・・・・・・	5

1 北九州市経済の現状

ものづくり産業の蓄積・・・・・・・・・・	9
極めて低い地震・災害リスク・・・・・	10
成長を支える物流インフラ・・・・・	11
多様なニーズに応える産業用地・・・・・	12
企業集積の状況・・・・・・・・・・	13

2 北九州市の財政状況

歳入・歳出決算の状況・・・・・・・・・・	14
健全化判断比率等・・・・・・・・・・	15
市税収入の推移・・・・・・・・・・	16
確実な歳入の確保・・・・・・・・・・	17
義務的経費・投資的経費の推移・・・・・	18
市債発行額と市債依存度の推移・・・・・	19
市債残高の推移・・・・・・・・・・	20
財政の硬直化要因・・・・・・・・・・	21
収支改善対策・・・・・・・・・・	22
具体的な取組内容・・・・・・・・・・	23
新行財政改革の検討と 「北九州市行財政改革有識者会議」・・	24

3 起債運営について

起債発行計画・・・・・・・・・・	25
資金調達の多様化への取り組み・・・・・	26
平成23年度市場公募債発行計画・・・・・	27
北九州市債引受シンジケート団・・・・・	28

KITAKYUSHU IR 2011 北九州市のプロフィール

発足：昭和38年（1963年）2月10日 5市合併により誕生

五大市に次ぐ全国6番目の政令市 平成25年2月10日に市制50周年を迎える

人口：976,711人（平成23年3月31日現在） 面積：487.89 km²

若松と戸畑を結ぶ
若戸大橋



提灯が揺れる
戸畑祇園大山笠



電飾が鮮やかな
黒崎祇園山笠



門司区 門司港レトロの門司港駅



太鼓の音が鳴り響く小倉祇園太鼓



平尾台のカルスト台地



1901年操業開始東田第一高炉

個性豊かな
7区





「元気発進！北九州」プラン

まちづくりの目標

人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち

まちづくりの基本方針

- 人づくり 多様な人材が輝くまちをつくる
- 暮らしづくり 質の高い暮らしができるまちをつくる
- 産業づくり 元気で人が集まるまちをつくる
- 都市づくり 便利で快適なまちをつくる

北九州ブランドの創造

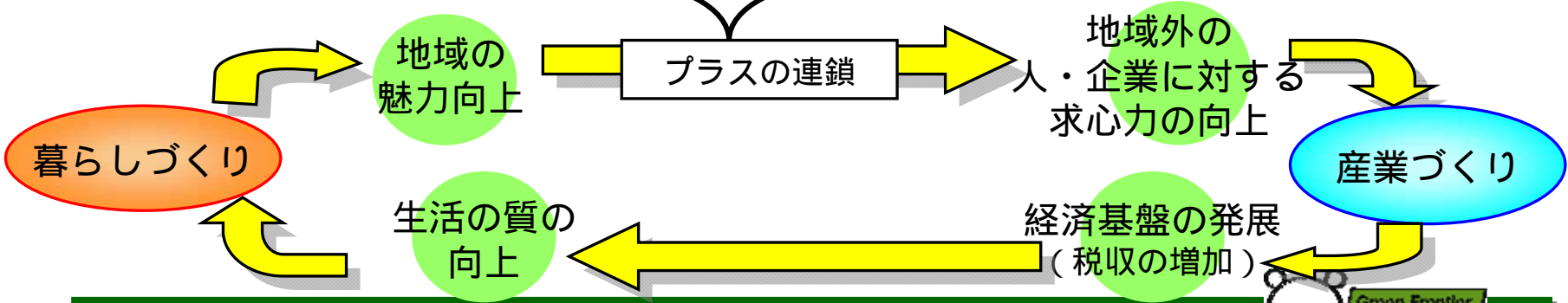
本市の中核的な強みや
魅力を表す都市ブランド

世界の環境首都
アジアの技術首都



まちづくりのちから

- 市民のちから (みんなでまちをつくる)
- 行政のちから (新しい市役所に変わる)
- 連携のちから (まちとまちのつながりを強める)
- 資産のちから (まちの「たから」を活かす)
- 自然のちから (自然の恵みを活かす)





(仮称)北九州市漫画ミュージアム

北九州市は松本零士氏など日本を代表する著名な漫画家を多く輩出

松本零士・・・「銀河鉄道999」

北条司・・・「シティーハンター」

わたせせいぞう・・・「ハートカクテル」など

漫画の魅力を幅広い世代に伝えるための漫画文化の拠点「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」を整備



平成24年度開館予定

北九州フィルム・コミッション

豊富なロケ地とこれまでに多くの映画やテレビドラマを撮影支援

平成21年度 映画「THE LAST MESSAGE 海猿」

「交渉人 The Movie」、他8件

平成22年度 映画「ロボジー」、

ドラマ「十津川警部シリーズ44」、他12件

平成23年度(平成23年9月末現在)

映画「ワイルド7」、ドラマ「ランナウェイ」、他9件

平成元年度以降の累計(平成23年9月末現在)



映画61本、ドラマ73本 計134本

響ホール



松本清張記念館



北九州市制
50周年
関連事業

B-1 グランプリ

平成24年度にB-1グランプリの北九州開催が決定

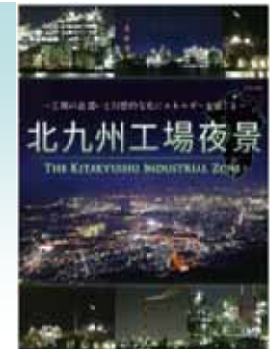


体験型産業観光

(工場萌えツアー)

日本の近代化産業を牽引してきた、北九州工業地帯の夜景を觀賞するツアー

工場群の景色はモノづくりの街・北九州市の原風景であり、特にその景色は力強く煌き、昼間には見られない工場の別の表情を楽しむことができる

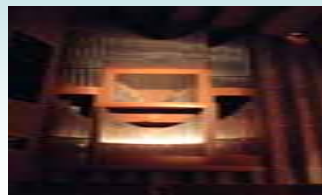


黒崎文化ホール



平成24年度オープン予定

アルモニーサンク
北九州ソレイホール



北九州芸術劇場



北九州国際音楽祭

入場者数1万人を超える音楽祭
昭和63年から開催、今年で24回目
開催：平成23年10月2日(日)

～11月5日(土)





(ギラヴァンツ北九州)

J2

10月1日現在

H22 第19位
(19チーム中)

H23 第8位
(20チーム中)

本市にプロスポーツを誕生させるため、平成13年に前身であるニューウェーブ北九州が設立。



© Giravanz

平成22年シーズンからJ2参戦。
平成23年2月に三浦泰年監督を迎え、健闘している。

国際車椅子バスケットボール大会

車椅子バスケットボールのクラブチーム世界一決定戦
開催：平成23年10月14日(金)～10月16日(日)



北九州市制50周年記念事業

日本スポーツマスターズ 2013

競技志向の高いシニア世代(35歳以上)を対象としたスポーツの祭典

政令指定都市による主催開催は初めて

開催：平成25年9月予定



全国高等学校選抜自転車競技大会

開催：平成24年3月22日(木)～3月24日(土)北九州メディアドーム



北九州メディアドーム

選抜女子駅伝北九州大会

実業団、高校の女子長距離界のトップチームが集う大会

開催：平成24年1月22日(日)

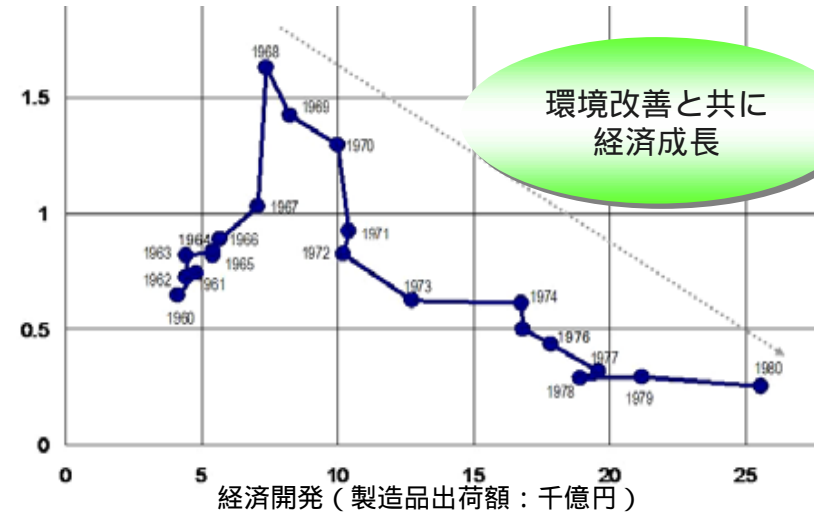


Green Frontier
環境・文化・スポーツ



環境汚染（硫黄酸化物）
（ $\text{mgSO}_3/100\text{cm}^2/\text{日}$ ）

出典：世界銀行MEIP「日本の経験調査」



環境改善と共に
経済成長

環境と経済が両立する技術は必ずアジアで役立ちます！

初

2011.6 OECD
“グリーン成長モデル都市”に、
アジアで初めて北九州市が認定

- 「経済成長と環境政策の両立」
- 他にパリ、シカゴ、ストックホルム
- 公害克服の実績と、リサイクル技術の集積が評価される



高い国際評価

- 1990年 国連「グローバル500」受賞
- 1992年 「国連自治体表彰」(日本初) 受賞
- 2000年 国連ESCAP大臣会合
「クリーンな環境のための
北九州仁シアチブ」採択
- 2002年 地球サミット2002持続可能な
開発表彰」受賞 など



《2008年7月》
 国の「環境モデル都市」第1号に認定され、取組を開始

2005年度
 (基準年) CO2排出量：
 1560万t

2030年
 削減目標 北九州市域で：
 -30%

2050年
 削減目標

北九州市域及び
 アジア地域で：-200%
 北九州市域：-50%
 アジア地域：-150%



温室効果ガス削減に向けた5つの取組方針

1. 環境が先進の街を創る（街づくり）
 太陽光発電など新エネルギーの活用や
 長寿命・省エネ住宅を整備した低炭素先進モデル街区を形成
2. 環境が経済を拓く（産業づくり）
 スマートグリッドを構築し、温室効果ガスの最小化と
 市民生活の利便性向上を同時に図る「スマートコミュニティ」構想
3. 環境が人を育む（人づくり）
 環境首都検定を実施、環境みらい学習システムの整備
4. 環境が豊かな社会を支える（暮らしづくり）
 環境パスポートの実施、エコライフステージの開催
5. 環境がアジアの絆を深める（アジアの絆づくり）
 アジア低炭素化センターの設置



H20.7 環境モデル都市に認定される



H21.12 中国・習国家副主席が来訪





産学官民が一体となり、技術移転で世界に貢献



センター長 小宮山 宏
(前東大総長)

センター構成

北九州国際技術協力協会(KITTA)環境協力センター

北九州市環境局環境国際戦略室

地球環境戦略研究機関(IGES)北九州アバンセンター



水ビジネス(ウォーター・プラント)

センターの目指すもの

新興国のニーズ：単なる技術輸出にとどまらないグリーンな都市づくり

環境都市のトップランナーとしての総合力(北九州市)

公害克服の経験

+

先進的な社会システム
(北九州エコタウン等)

+

優れた環境技術

アジア諸都市や企業の多様なニーズに対応
「エコシティ」や「スマートシティ」など

温室効果ガス削減
二国間クレジット化

オーダーメイド方式による
都市(街)輸出

アジア地域の
実証実験・人材育成の拠点化

アジア地域の環境ビジネスの拠点



リサイクルビジネス(エコタウン)



エネルギービジネス(次世代)



環境負荷低減ビジネス
(公害対策)

センター開設以降の実績

➤ビジネス契約件数：3件

..... 新日鐵化学・中国・パラスト水浄化ライセンス供与

➤国からの調査受託件数：6件

..... 北九州市水道局・カボジア・浄水場設計

..... 北九州市水道局・カボジア・上水道整備





北九州市水道事業のこれまでの歩み

- ▶北九州市の水道は、1911年の給水開始以来、2011年に節目となる100周年を迎え、水源開発の技術や水質管理等、様々なノウハウを蓄積
- ▶2006年に策定した「北九州市水道事業基本計画」の重点目標に「世界に貢献する水道」を掲げ、海外における様々な技術協力プロジェクトに積極的に参画

北九州市海外水ビジネス 推進協議会を設立（2010年8月）

< 構成 > 民間企業109社
関係機関7団体
学識経験者3人

< 活動 >

- ▶海外の現地ニーズ調査
- ▶官民連携による海外展開の手法検討 など

本協議会は、アジア低炭素化センターの事業化推進研究会との位置づけ



会員企業の分類

- ・建設コンサルタント
- ・土木建設、プラント建設
- ・電機、計装システム等
- ・金融、商社等 ・その他

初

地方自治体の
水ビジネス受注
は、日本初！！

< 成果 >

2011年3月：カンボジア（シェムリアップ市）浄水場基本設計補完業務受注
受注金額 約1,400万円

2011年8月：カンボジア（セ・モノム市）上水道整備事業コンサルタント業務受注内定
本市受注金額 約2,700万円



1 北九州市経済の現状



官営八幡製鐵所
1901

機械・金属加工産業
(1945年~)

- ・三井ハイテック
- ・日本磁力選鉱
- ・日本鑄鍛鋼

プラント
エンジニアリング
(~1945年)

多様な展開

- 鉄鋼関係から
- ・三島光産
 - ・岡野バルブ
 - ・濱田重工
- 窯化学関係から
- ・高田工業所
 - ・山九

- ・ゼンリン (地図)
- ・安川情報システム (情報産業)
- ・セントラルユニ (医療・福祉機器)
- ・シャボン玉石けん (無添加石けん)
- ・OCC (海底光ケーブル)

大企業の展開
(~1920年)

- 鉄鋼
- ・住友金属小倉
 - ・日立金属
- 窯業
- ・黒崎播磨
 - ・TOTO
- 化学
- ・旭硝子
 - ・三菱化学
- 電気機械
- ・安川電機
 - ・東芝

近代産業の発生
(1901年)

- 鉄
- 鉄鋼
- ・官営八幡製鐵所

素材

地域資源
石炭・石灰
港湾

基盤産業技術の高度化 先端技術へ

公害対策
省エネルギー対策

環境産業



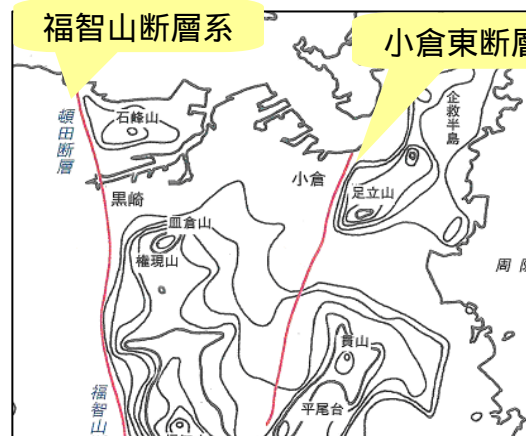


極めて低い地震・災害リスク

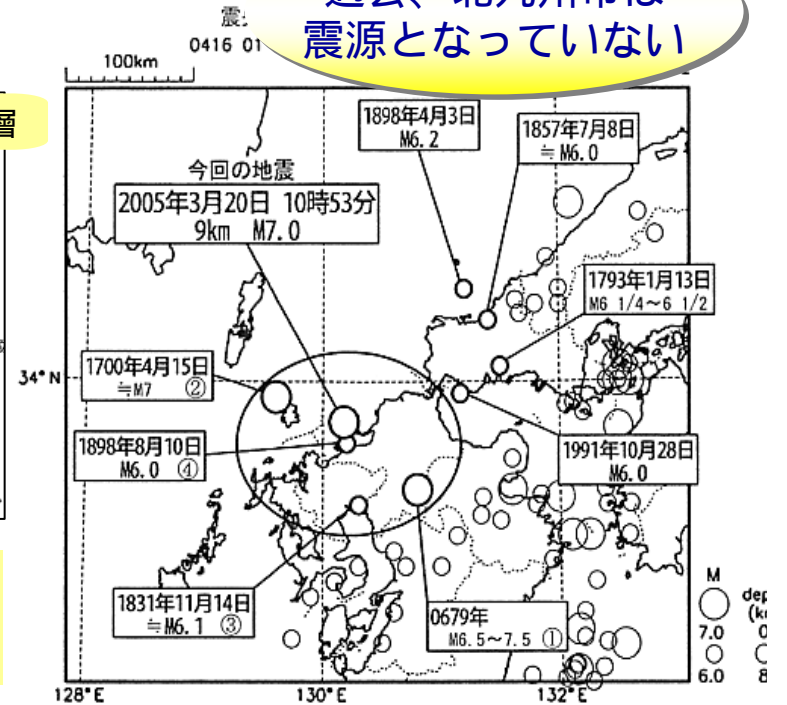
地震危険度がもっとも低い地域に位置し、業務継続性を確保

【北九州市域の断層の状況】

項目	福智山断層系	小倉東断層系
活動の繰り返し間隔	約25,000年	約8,500年
最新の活動時期	約11,000年前から数千年遡る期間	約2,200年前
次の活動	差し迫って起こる可能性は低い	差し迫って起こる可能性は低い



過去、北九州市は震源となっていない



気象庁作成資料

▶新たな生産拠点を検討している部品・素材メーカー、関東地区などに拠点を集中させているコールセンターや事務処理センター事業者などから、リスク分散の観点からの引合が増加。


湧水に強い工業用水と上水道

【工業用水道】水量豊かな遠賀川(1級河川)を水源とする気象条件に左右されない安定した給水
東京都及び政令市の中、最も安価な料金

【上水道事業】市外にも積極的に水源を求め、豊富な水量を確保
基幹浄水場を結ぶ連絡管の整備等により、事故や災害に強い安定した給水を実現

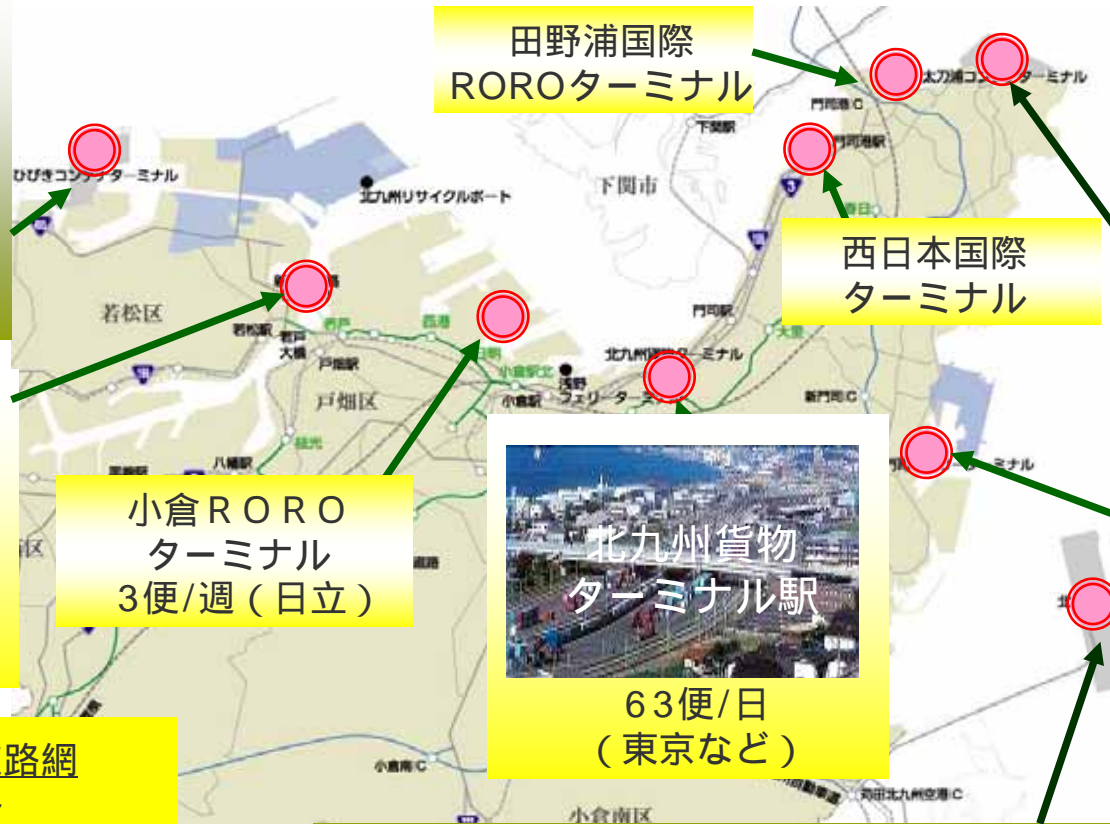


KITAKYUSHU IR 2011 成長を支える物流インフラ



ひびきコンテナ
ターミナル

8航路 53便/月
大水深港湾




新若戸道路

小倉RORO
ターミナル
3便/週(日立)



北九州貨物
ターミナル駅

63便/日
(東京など)



太刀浦コンテナ
ターミナル

31航路 173便/月



浅野&新門司
フェリー
ターミナル

6航路 42便/週

高速道路網
北九州都市高速道路
北九州市内を東西、南北
に結ぶ。総延長49.5km
東九州自動車道
北九州JCT
～ 苅田北九州空港IC



おかげさまで
開港5周年

5th
北九州空港
Anniversary

北九州空港

国際線 (北九州-韓国・仁川)
・ 濟州航空 (週3便)

国内線 (北九州-羽田)
・ 豊富なフライト - 1日16便
(JAL、SFJ、SKY)



KITAKYUSHU IR 2011 多様なニーズに応える産業用地



環境・エネルギー産業の大型誘致案件
 (設備投資20億円以上、新規雇用20人以上)については、
 23年度より優遇制度を強化：助成率7% 12%

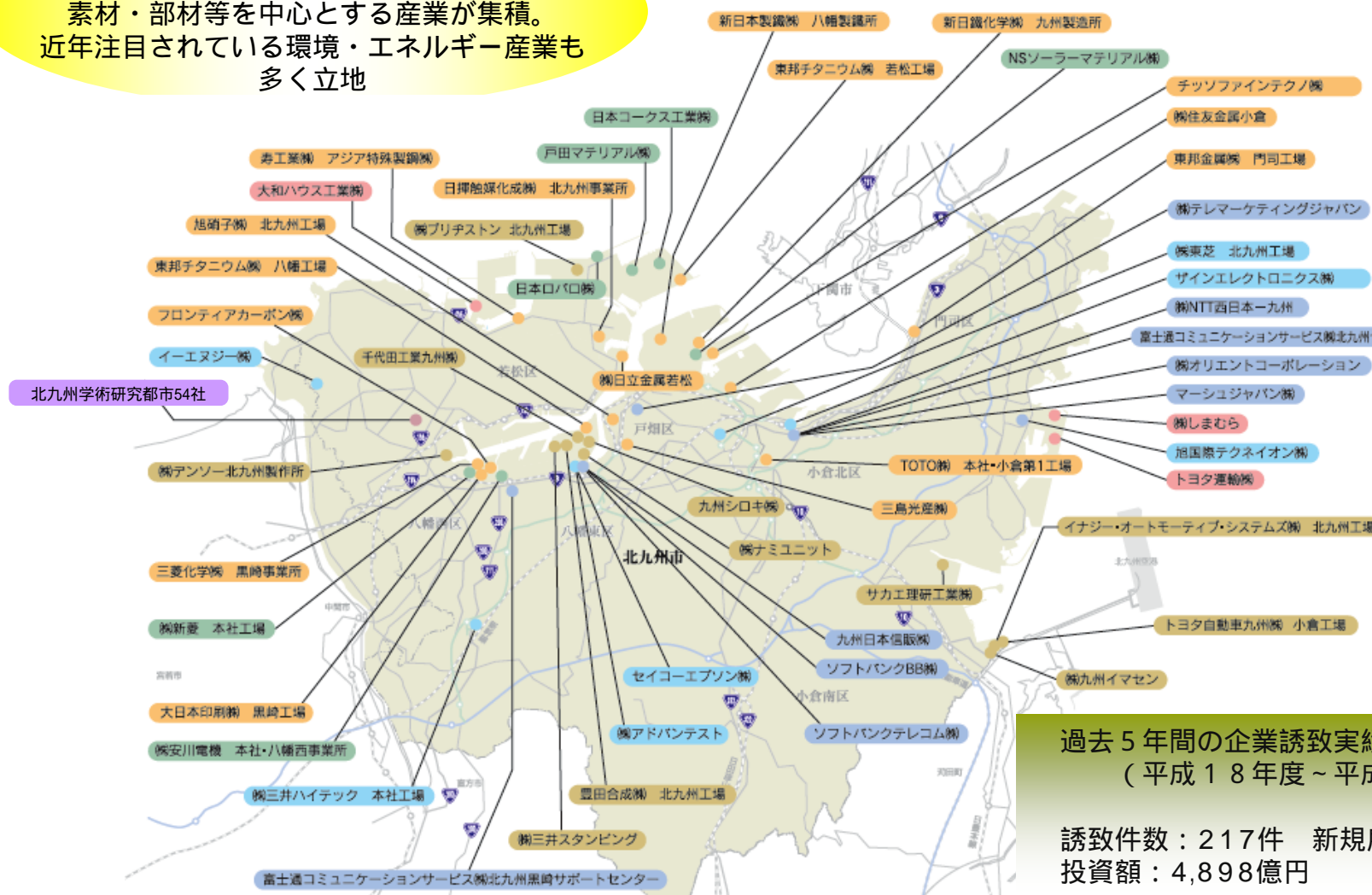




企業集積の状況

100年以上にわたり、日本の産業拠点として発展した歴史から、自動車、半導体、素材・部材等を中心とする産業が集積。近年注目されている環境・エネルギー産業も多く立地

- 凡例
- 環境・エネルギー関連
 - 半導体関連
 - 研究開発関連
 - 素材・部材関連
 - 情報通信関連
 - 自動車関連
 - 物流関連



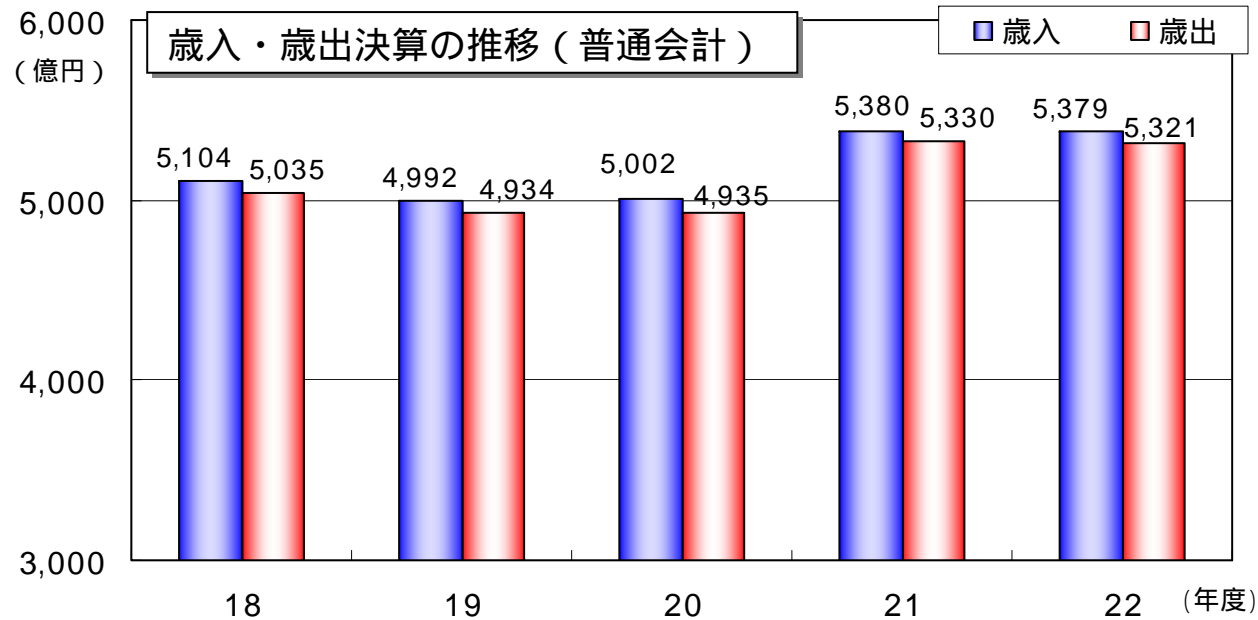
過去5年間の企業誘致実績
 (平成18年度～平成22年度)

誘致件数：217件 新規雇用：5,682人
 投資額：4,898億円



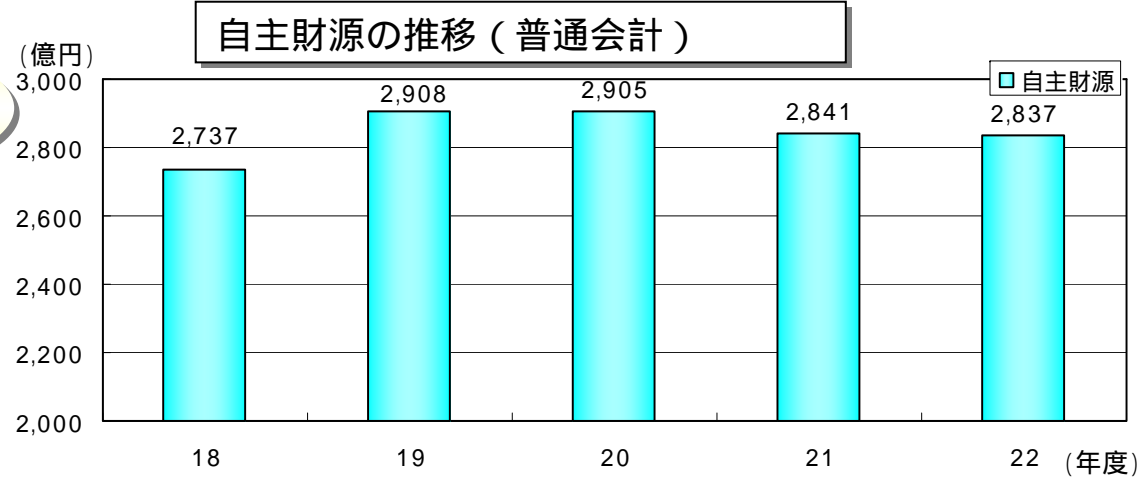
2 北九州市の財政状況

歳入・歳出決算の状況



平成21年度以降、歳入・歳出ともにそれまでを上回る規模となっているのは、市民生活を守るための緊急経済・雇用対策に積極的に取り組んだ結果である。

自主財源は、前年度と同程度の水準



【健全化判断比率】

各比率はいずれも基準値を大きく下回っている。
財政規律を堅持し財政の健全性を維持

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
北九州市	-	-	11.7%	166.0%
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	400.0%
財政再生基準	20.00%	35.00%	35.0%	

実質赤字比率 は、連結ベースを含め、「**比率なし**」の黒字を確保

実質公債費比率は、第7位（19都市中）

15年度以降に政令市に移行した**比較的新しい都市を除くと第3位**（12都市中）

将来負担比率 は、第11位（19都市中）

15年度以降に政令市に移行した**比較的新しい都市を除くと第4位**（12都市中）

順位は、良い方からの順位【速報値】

【資金不足比率】 公営企業会計が対象（上・下水道事業や病院事業など）

3.2%	病院事業会計（早期健全化基準に相当する）経営健全化基準は20%
------	---------------------------------

病院事業会計 経営改善によって、単年度実質収支が黒字に転換（前年度5.8%）

他の公営企業会計は資金不足を生じた会計がないため比率なし

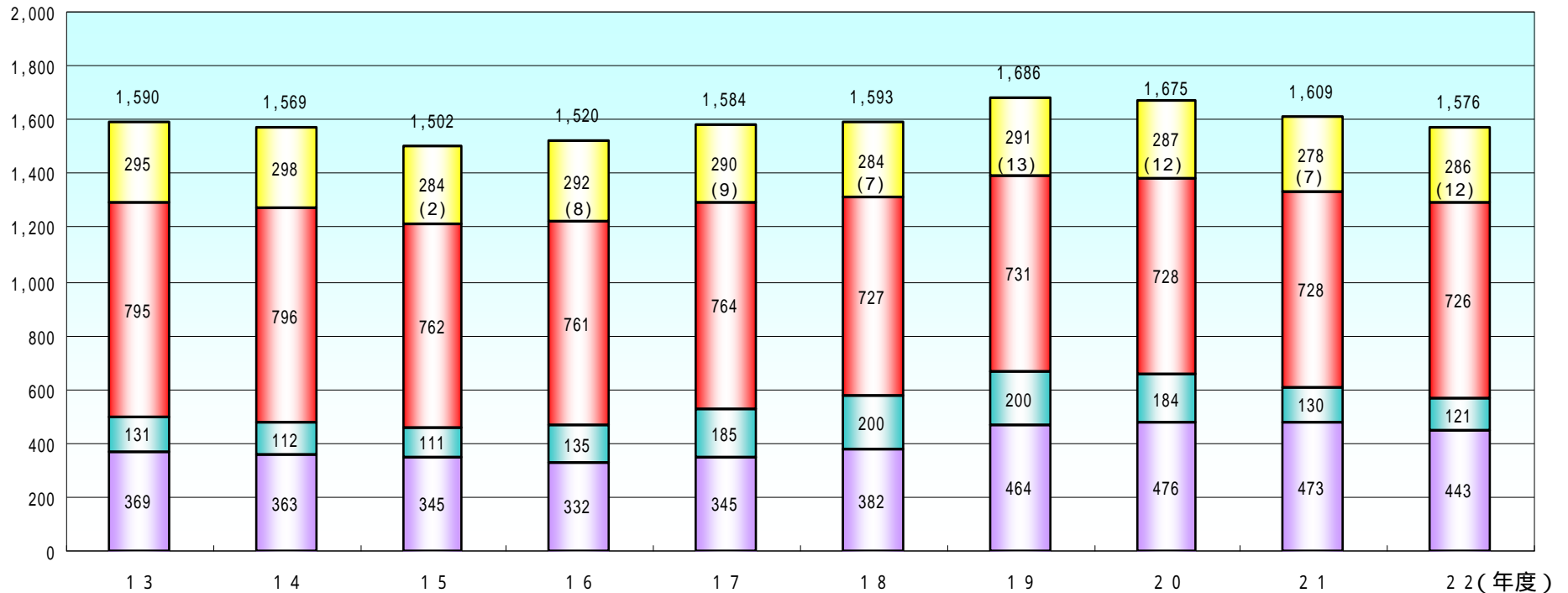
市税収入の推移

環境未来税（H15.10創設）

- ・環境施策を積極的に推進するための法定外目的税
- ・廃棄物の中間処理には課税せず、最終処分ですべて課税するため、企業の経済活動をリサイクル、減量化に誘導

(億円)

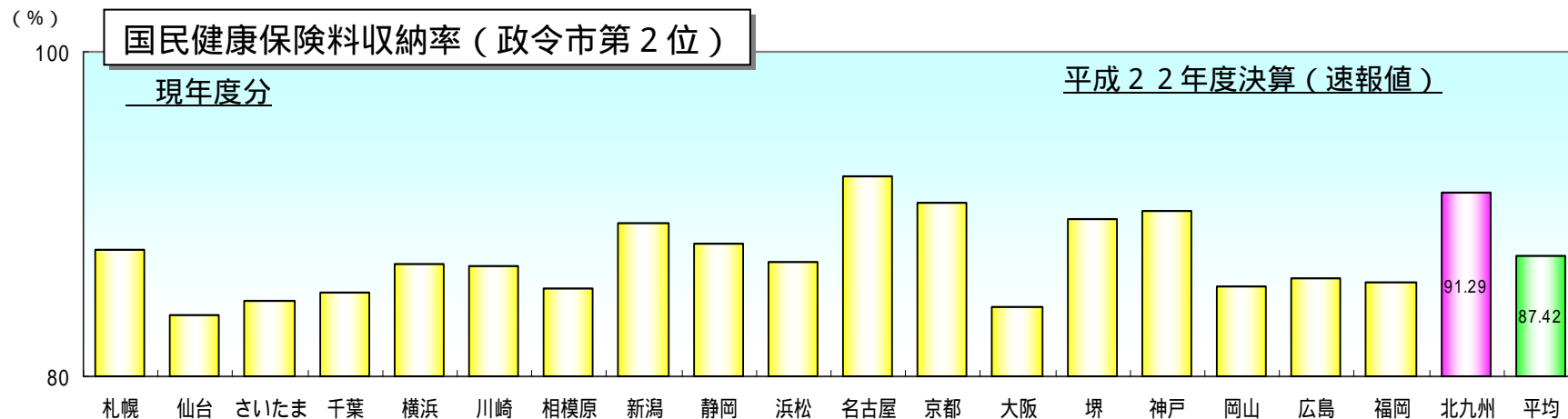
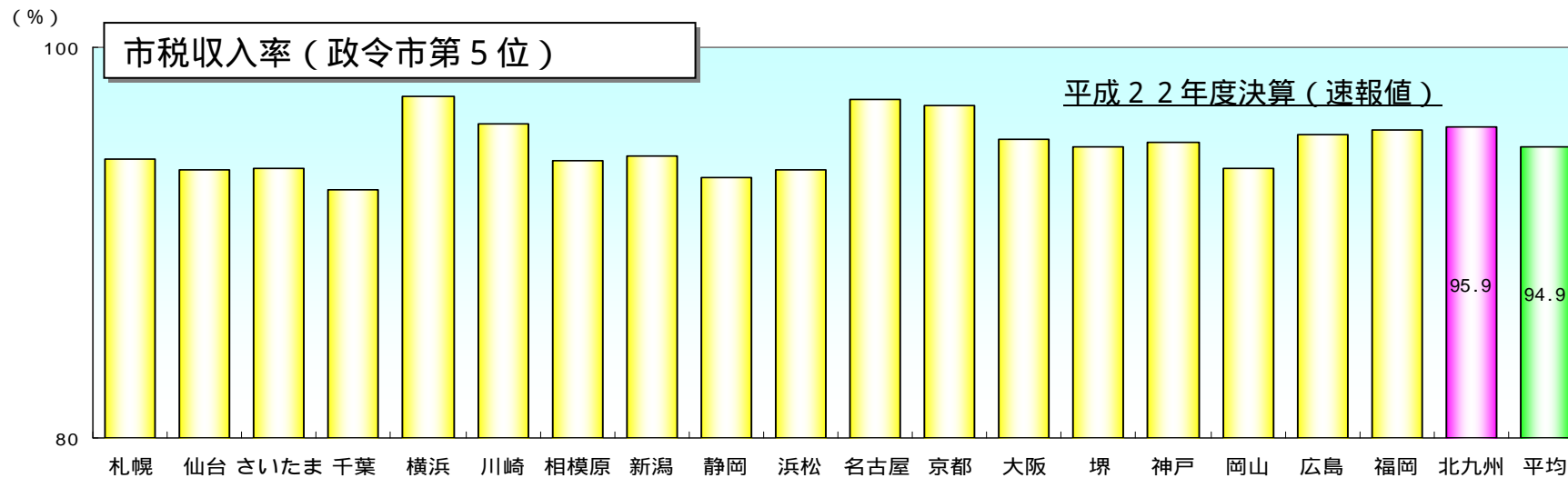
□ 個人市民税 □ 法人市民税 □ 固定資産税 □ その他(うち数は環境未来税)



景気低迷の影響による納税義務者の減少等による個人市民税の減収等により、平成20年度から引き続き3年連続の減収



KITAKYUSHU IR 2011 確実な歳入の確保

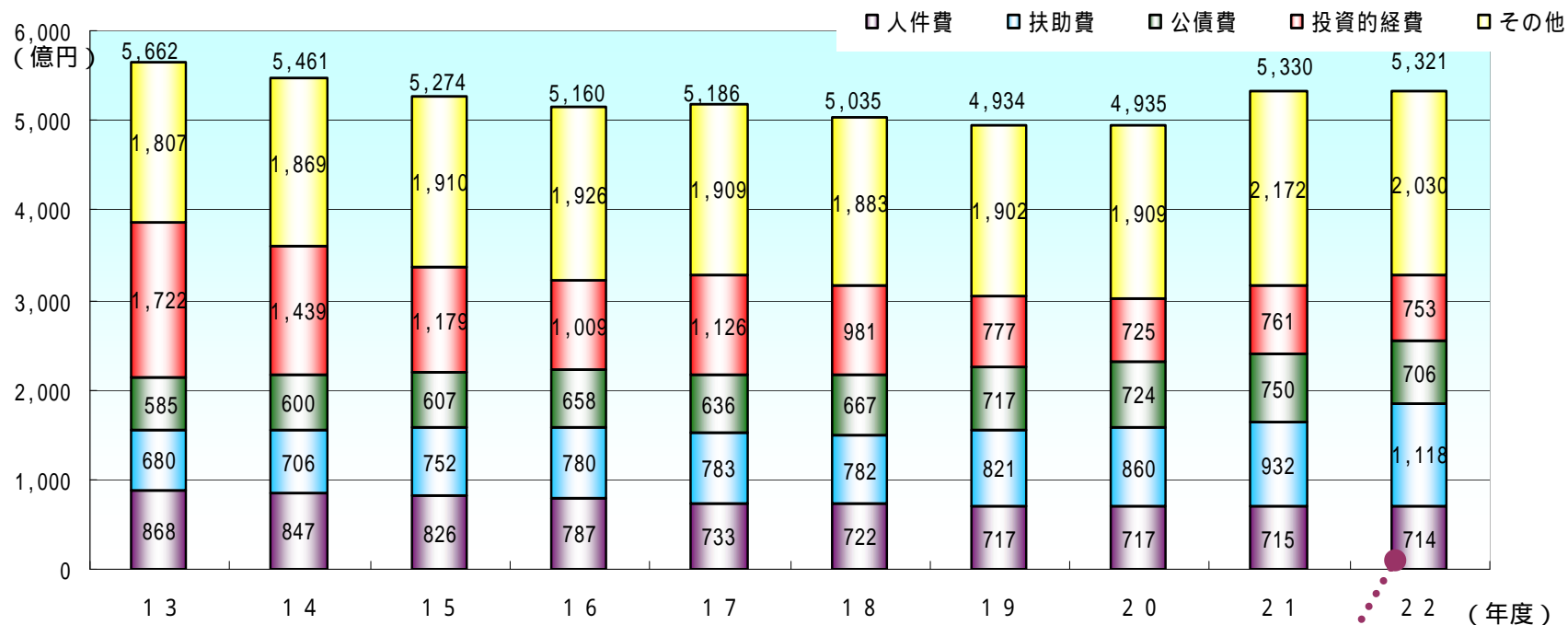


市税及び税外債権の高い収入率



KITAKYUSHU IR 2011 義務的経費・投資的経費の推移

義務的経費・投資的経費の推移（普通会計）



行財政改革の取組みによる職員数削減と人件費総額抑制
人件費比率（13.4%）は19政令市中、低い方から第3位

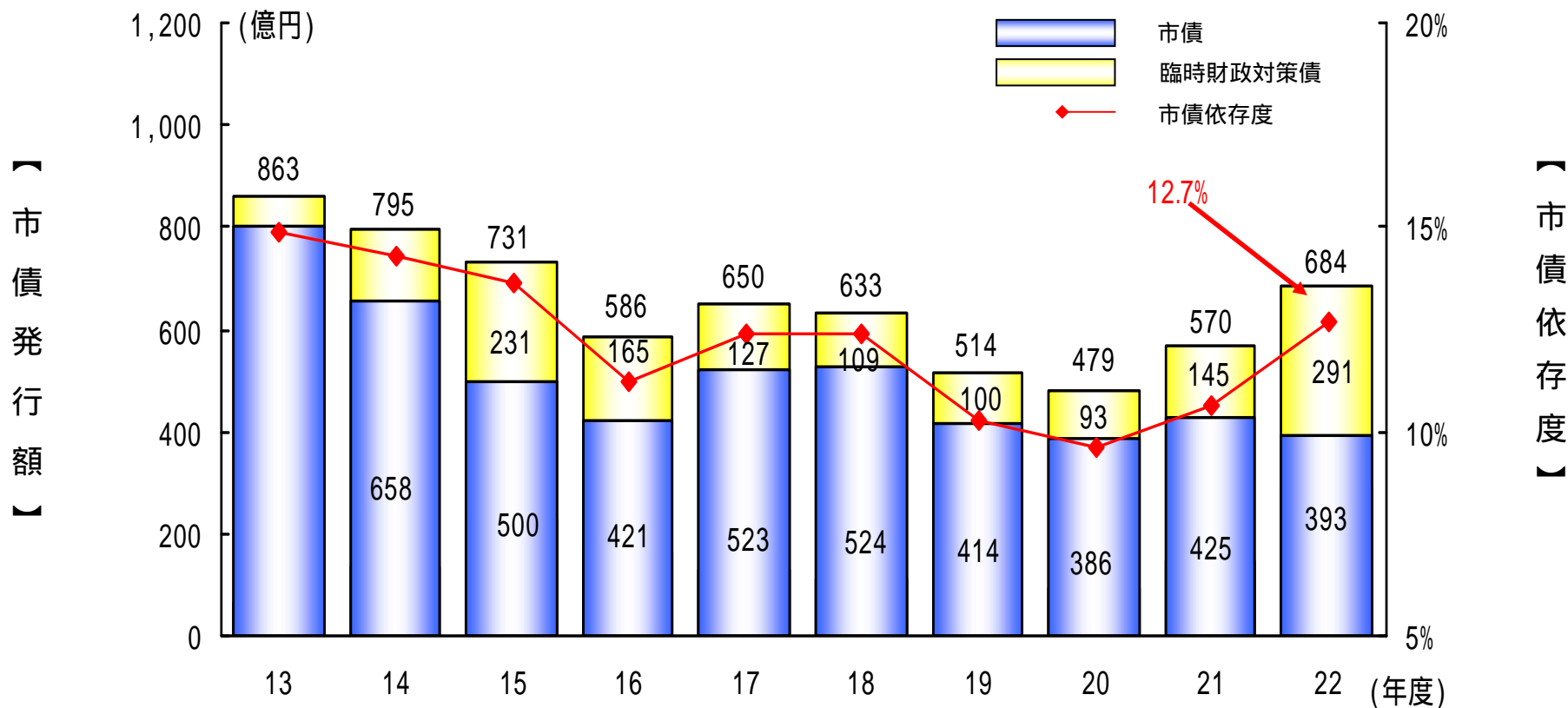
過去最高額となる義務的経費は、子ども手当の創設等による扶助費の増加が要因

投資的経費は、直近10年で縮減傾向
但し、リーマンショック後は、市民生活を守るための緊急経済・雇用対策により、一定の水準を確保

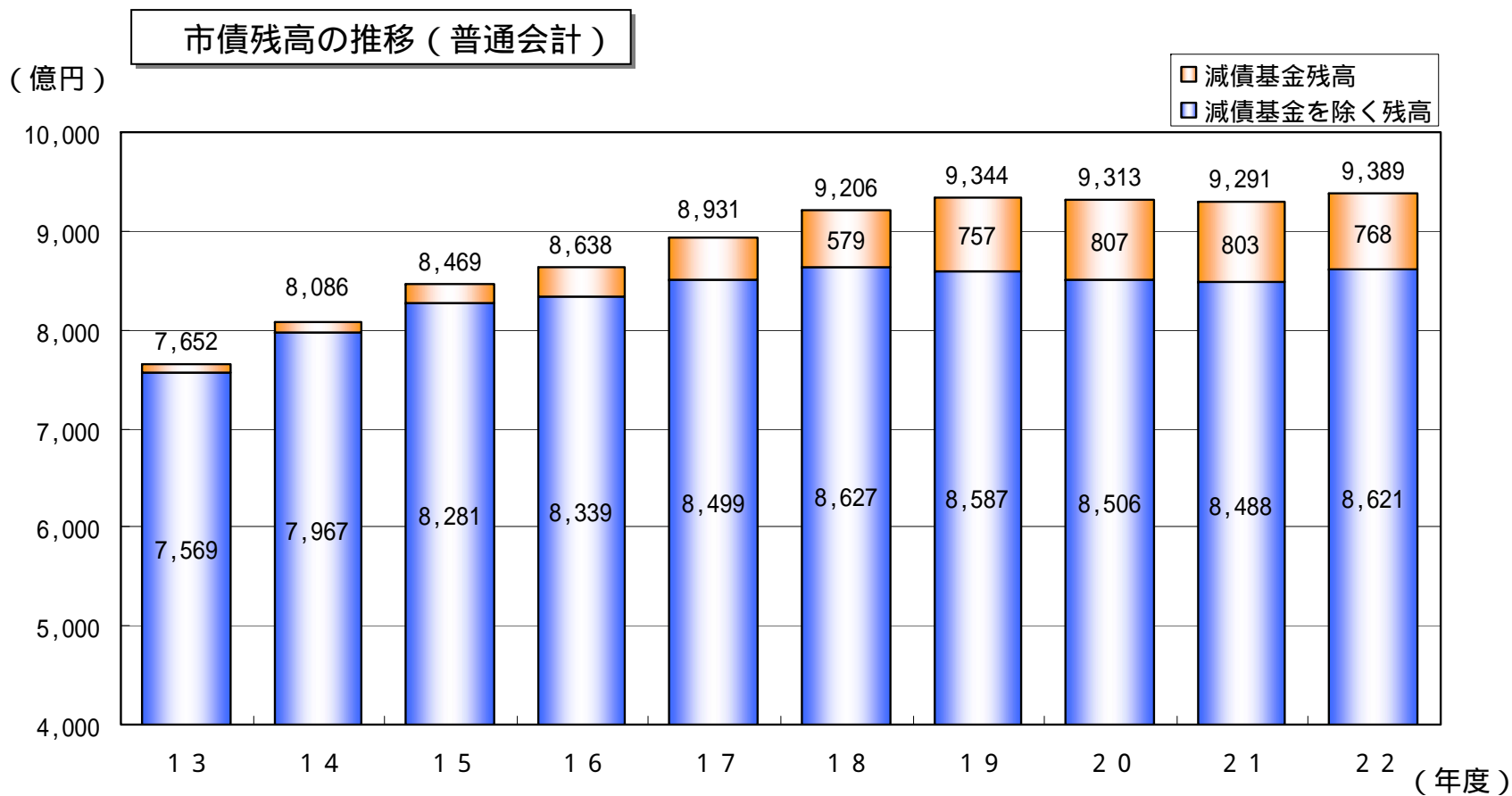


KITAKYUSHU IR 2011 市債発行額と市債依存度の推移

市債発行額と市債依存度の推移（普通会計）



市債発行額は、地方交付税の振替である臨時財政対策債の影響により
114億円増加したが、公共事業等に係る市債発行額は32億円減少した。

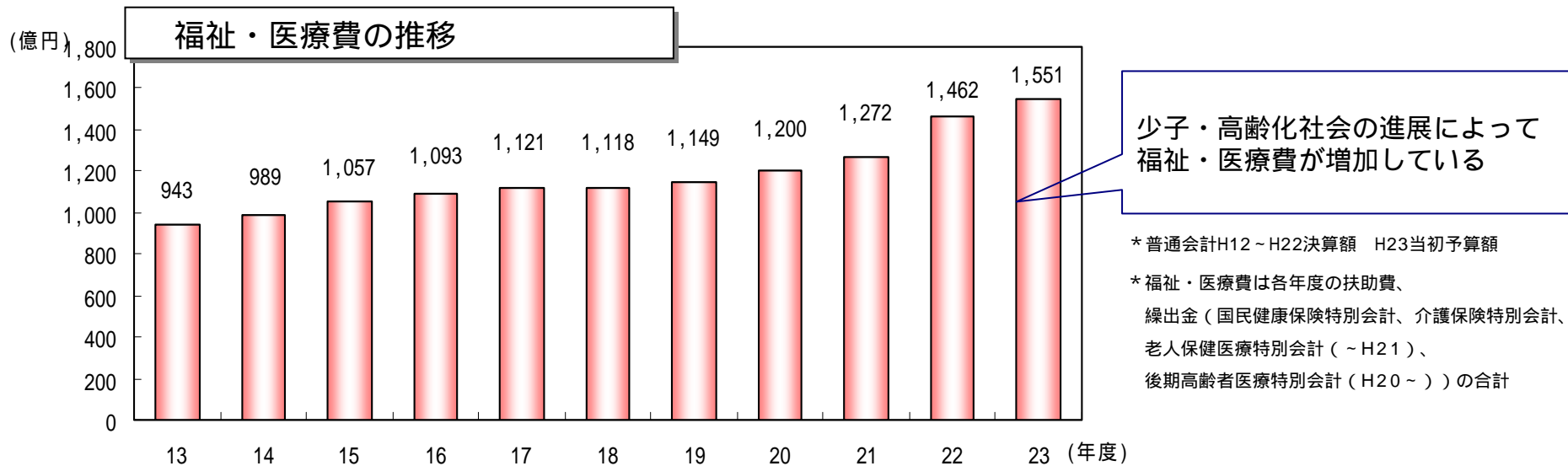
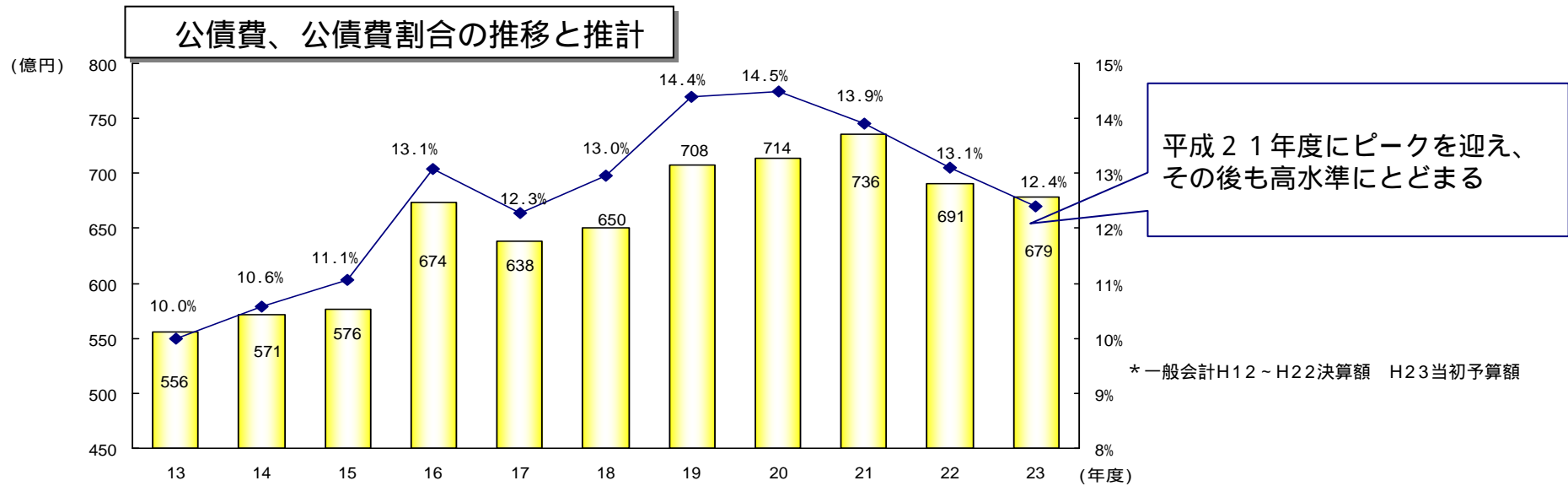


注 市債残高、減債基金残高は普通会計ベース。

市債残高は、臨時財政対策債の発行額増加の影響により平成19年度以来3年ぶりに増加した。



KITAKYUSHU IR 2011 財政の硬直化要因（公債費、福祉・医療費の増）

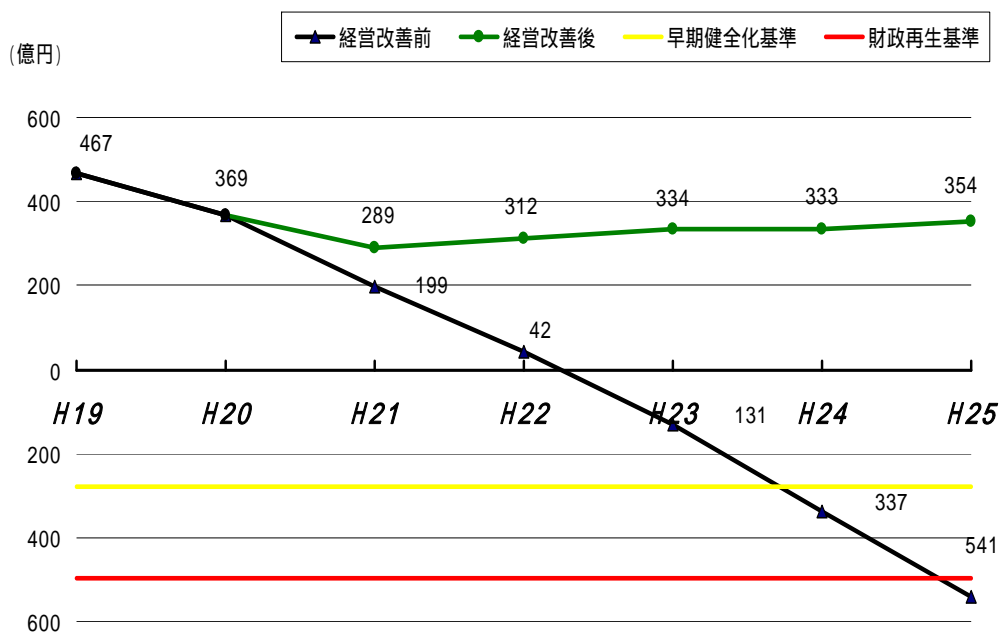


北九州市経営プラン（平成21～25年度）

平成21～22年度を集中取組期間として200億円規模の収支改善対策を実施
 平成21・22年度合計で約210億円の収支改善を達成
 （財政調整用基金の取崩しに頼らない、単年度収支均衡を実現）

➡ 今後も持続可能で安定的な財政の確立を目指す

中期財政見通し（H19～H25）



実質赤字比率の早期健全化基準 = 279億円

” の財政再生基準 = 495億円 いずれもH19決算ベース

* 財源調整用基金で、満期一括償還分等に係る基金は除く

【経営改善後の基金残高】

（単位:億円）

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
収支不足額	85	228	303	290	306	339	337
決算における歳入増・歳出不用等	-	100	100	100	100	100	100
経営改善見込額	-	-	100	200	220	230	250
経営改善後の収支不足額 （基金取崩額） （+ +）	85	128	103	10	14	9	13
基本計画推進財源	-	-	10	20	25	25	25
基金積立額	106	30	33	33	33	33	33
基金増減額 （- +）	21	98	80	23	22	1	21
年度末基金残高 （前年度末残高+）	467	369	289	312	334	333	354



KITAKYUSHU IR 2011 具体的な取組内容（21、22年度実績）

北九州市経営プラン

収支改善額

21年度実績 102億円 22年度実績 108億円

（歳入増）

（歳出減）

【債権回収の強化】

「北九州市債権回収対策本部」における収入率の向上等歳入の確保に向け取り組み
コンビニエンス・ストアでの市税収納の導入

【収入額の確保】

国庫補助金等の活用、特別会計剰余金等の活用、
広告事業の拡充による収入確保など

【未利用資産の処分・活用】

未利用市有地の売却、一時貸付の実施

【職員数の削減】

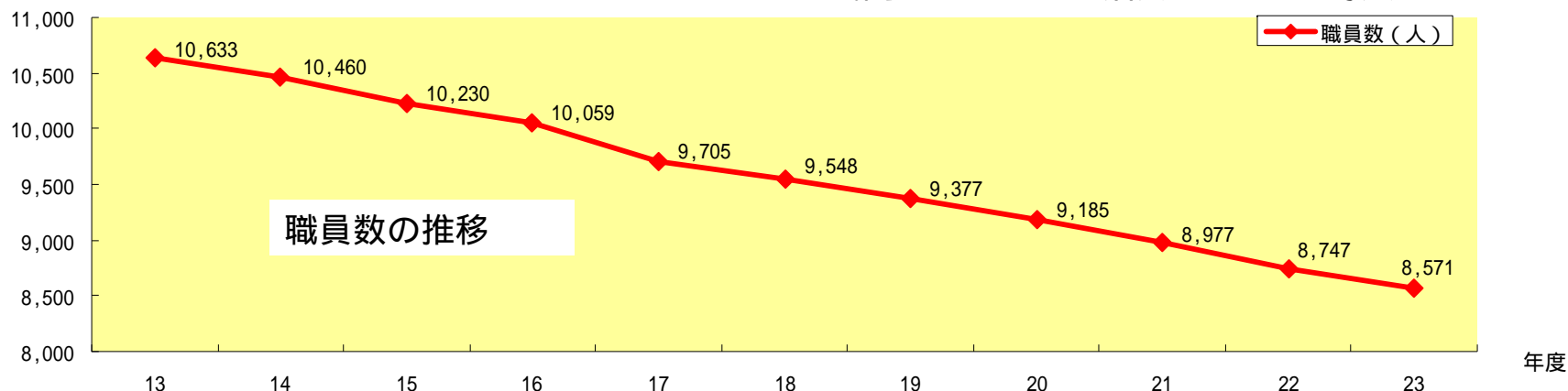
民営化・民間委託の推進、組織の見直し等により
職員数の削減を実施
平成25年度には職員数を8,000人体制へ

【事務事業の見直し等】

公共施設の維持管理経費の削減や、公の施設管理
への指定管理者制度の導入推進など

【公共投資の重点化・抑制】

当初予算ベースで前年比7%程度を削減
民間のノウハウを活用するPFIの導入





行政運営全般に亘る
総点検の実施

- 厳しい財政状況の中でも、本市のまちづくりのビジョンをしっかりと描きつつ、未来志向で、強めるべきところは強めることが重要。
- 「選択と集中」を図るため、行政運営が効率的・効果的であるか今一度総点検を行い、今後の行財政改革の方針を定める。

基本方針

中長期的な視点も含めた総点検

市民にわかりやすい行財政改革

北九州市行財政改革 有識者会議（H23.8月～）

一層の行財政改革を推進するため、外部の有識者でつくる会議を開催。

行財政改革に関し見識のある有識者（学識経験者、経済界・労働界等）7名で構成。

● 新行財政改革の検討の4つの柱

1．公共施設のマネジメント

市有建築物の更新・整備を含め、全市的な視点で公共施設のあり方等を検討する。

2．組織のマネジメント

地方分権の進展に的確に対応していくため、組織運営全般（外郭団体を含む）について、あり方を検討する。

3．事業の見直し

行政サービスとして実施する必要性、実施手法等の総点検を行う。

4．選択と集中の推進に向けた仕組みづくり

既存の行政評価をベースに、市の事業全般の見直し等について仕組みづくりを検討する。

3 起債運営について

KITAKYUSHU IR 2011 起債発行計画

超長期 20 年債を 24 年 1 月に発行予定

個別発行 10 年債を例年どおり 23 年 12 月に発行予定

これまで以上に IR へ積極的に取り組むとともに、市場との対話を重ね丁寧な起債運営に取り組む

【平成 23 年度起債発行予定額】 1,290 億円

(単位 億円)

市場公募債				銀行等 引受債	政府 資金等
5 年債	10 年債		超長期債		
	個別	共同発行	20 年		
150	200	300	200	322	118

KITAKYUSHU IR 2011 資金調達の多様化への取り組み

資金調達の多様化への取り組み

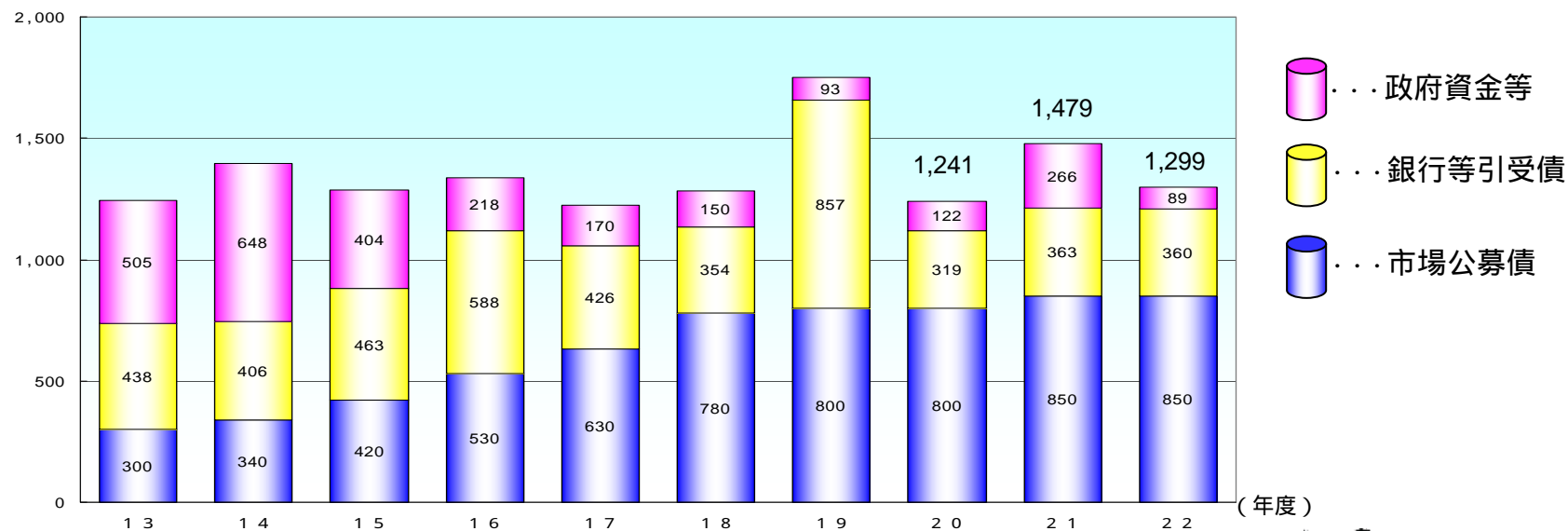
銀行等引受債の5年債の債券発行（H12～）
 住民参加型市場公募債（ひまわり債）の発行（H14～）
 共同発行市場公募債の発行（H15～）
 シンジケート・ローンでの借入（H16～）

提案募集方式による借入（H17～）
 超長期債（20年債）の発行（H18～）
 全国型5年債の発行（H19～）

市債発行に占める政府資金、民間資金の推移

平成22年度においては民間資金の割合が、90%を超えた。

（億円） 【発行額の推移 全会計決算ベース】



KITAKYUSHU IR 2011 平成23年度市場公募債発行計画

単位：億円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債						150							150
10年債									200				200
20年債				100						100			200
共同発行債			50		50		50	50			50	50	300
計	0	0	50	100	50	150	50	50	200	100	50	50	850

平成22年度に引き続き、平成23年度も毎年12月に発行している10年債のほか、5年債（年1回）、20年債（年2回）の発行を予定しています。

< 市場公募債 >

* みずほ銀行	* SMBC日興証券
* 福岡銀行	* 大和証券キャピタル・マーケット
* 西日本シティ銀行	* 野村証券
* 山口銀行	* みずほ証券
* 福岡ひびき信用金庫	* 三菱UFJエガソン・スタイル証券
* 三井住友銀行	* みずほインバスターズ証券
銀行団計6行	エガソン・スタイル-MUFG証券
* 5年債シンジケート団	* SMBCフルト証券
	* 丸三証券
	岡三証券
	* 前田証券
	しんきん証券
	ゴールドマン・サックス証券
	メリル Lynch日本証券
	ドイツ証券
	BNPパリバ証券
	クレディ・スイス証券
	証券団計17社

< 銀行等引受債 >

福岡銀行
みずほ銀行
西日本シティ銀行
山口銀行
福岡ひびき信用金庫
信金中央金庫
三井住友銀行
福岡中央銀行
親和銀行
大分銀行
佐賀銀行
新生銀行
西京銀行
計13行

平成23年10月1日、開設に伴い、山口銀行より北九州銀行が権利義務を承継するもの。





北九州市財政局財務部財政課

〒803 - 8501 北九州市小倉北区城内 1 番 1 号

TEL:093-582-2003 FAX : 093-582-2070